# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日


上場会社名　株式会社　栗本鐵工所　　上場取引所　東 大
コード番号　5602　URL　http://www.kurimoto.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福井　秀明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　総合企画室長　(氏名) 小島　眞也　TEL 06-6538-7724

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 69,866 | 1.4 | 2,969 | 18.1 | 2,373 | 38.0 | 1,515 | △1.4 |
| 23年3月期第3四半期 | 68,904 | △25.8 | 2,514 | △58.4 | 1,720 | △66.4 | 1,537 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　615百万円　(△31.4%)　23年3月期第3四半期　897百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 11.46 | ― |
| 23年3月期第3四半期 | 11.63 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 126,679 | 40,627 | 31.9 |
| 23年3月期 | 123,849 | 40,291 | 32.3 |

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　40,362百万円　23年3月期　40,017百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 0.00 | ― | 2.00 | 2.00 |
| 24年3月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 94,000 | △1.0 | 2,800 | △19.8 | 1,800 | △34.1 | 1,000 | △32.3 | 7.56 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 133,984,908 株 | 23年3月期 | 133,984,908 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 1,772,666 株 | 23年3月期 | 1,770,534 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 132,213,363 株 | 23年3月期3Q | 132,216,269 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済の状況は、東日本大震災の影響により停滞していた生産活動は回復に向かっているものの、円高の長期化懸念、株式市場の低迷、電力供給の制限などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの第３四半期連結累計期間の業績は、機種の統廃合を行ったバルブ部門、厳しい業界環境下で需要が減少した素形材部門他で売上高が減少しましたが、機械部門で鍛圧機、混練機の売上高が増加したこと、建材部門において首都圏オフィスビル向けの空調製品の出荷が好調だったことなどにより、売上高は前第３四半期連結累計期間比961百万円増収の69,866百万円となりました。

利益面では原材料価格の上昇が続いたものの、原価改善をはじめ、管理販売費の削減につとめたことなどにより、営業利益は2,969百万円(前第３四半期連結累計期間比454百万円増益)、経常利益は2,373百万円（前第３四半期連結累計期間比653百万円増益）となりました。反面、四半期純利益は、特別損失として有価証券の評価損を計上したことにより1,515百万円（前第３四半期連結累計期間比21百万円減益）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門において新型耐震管の採用が進み、小口径管の出荷は堅調だったものの、中口径管の出荷が減少したこと、機種の統廃合を行ったバルブ部門の売上が減少したことなどにより、前第３四半期連結累計期間比930百万円減収の40,403百万円となりました。

営業利益につきましては、バルブ部門において収益改善が実施されたものの、鉄管部門で付加価値の高い粉体塗装管の出荷が伸びなかったこと、主原料を中心とした材料高の影響により、前第３四半期連結累計期間比224百万円減益の1,779百万円の営業利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、素形材部門において鋳物で売上が減少したものの、機械部門において、海外向けの鍛圧機ならびに混練機の増加により、売上を伸ばしました。これらにより、前第３四半期連結累計期間比495百万円増収の15,068百万円となりました。

営業利益につきましては、利益率の高い個別物件や原価改善などにより、前第３四半期連結累計期間比700百万円増益の833百万円の営業利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において、厳しい業界環境下において消音製品の出荷は減少したものの、東京地区の大型オフィスビル向けの空調製品、高層マンション向けの建築製品の出荷が好調だったことにより売上が増加しました。また、化成品部門におきましては、東日本大震災の影響により電力分野の出荷が減少したものの、農下水分野がこれを上回り売上が増加しました。これらから前第３四半期連結累計期間比1,396百万円増収の14,394百万円となりました。

営業利益につきましては、化成品部門におきまして、コストダウンに注力したものの、電力分野の減収で減益となりましたが、建材部門で空調、建築製品の増収により増益となったことなどから、前第３四半期連結累計期間比225百万円増益の384百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券、現金及び預金などが減少した反面、受取手形及び売掛金、仕掛品などの増加により、前連結会計年度末比2,830百万円増加の126,679百万円となりました。

一方、負債におきましては、短期借入金などが減少した反面、支払手形及び買掛金などの増加により、前連結会計年度末比2,494百万円増加の86,052百万円となりました。

純資産におきましては、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金などの減少により、前連結会計年度末比335百万円増加の40,627百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より1,283百万円減少の15,316百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,495百万円となりました。これは売上債権の増加による資金の減少、たな卸資産の増加による資金の減少、仕入債務の増加による資金の増加などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,785百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2,954百万円となりました。これは主に短期および長期の借入金の返済によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、想定した範囲内で業績が推移しているため、平成23年11月７日公表の業績予想数値の見直しは行っておりません。

## ２．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,627 | 15,443 |
| 受取手形及び売掛金 | 36,044 | 39,978 |
| 商品及び製品 | 7,756 | 7,625 |
| 仕掛品 | 4,930 | 6,667 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,061 | 2,144 |
| その他 | 1,552 | 1,677 |
| 貸倒引当金 | △206 | △220 |
| 流動資産合計 | 68,767 | 73,316 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 24,484 | 24,641 |
| その他（純額） | 17,076 | 16,636 |
| 有形固定資産合計 | 41,560 | 41,278 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 376 | 283 |
| 無形固定資産合計 | 376 | 283 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,146 | 8,436 |
| その他 | 4,068 | 3,993 |
| 貸倒引当金 | △1,071 | △628 |
| 投資その他の資産合計 | 13,144 | 11,800 |
| 固定資産合計 | 55,081 | 53,362 |
| 資産合計 | 123,849 | 126,679 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,410 | 27,482 |
| 短期借入金 | 48,121 | 30,919 |
| 未払法人税等 | 269 | 121 |
| 引当金 | 1,776 | 821 |
| その他 | 4,628 | 5,439 |
| 流動負債合計 | 77,206 | 64,784 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 44 | 33 |
| 長期借入金 | 1,108 | 15,666 |
| 退職給付引当金 | 3,348 | 3,815 |
| その他の引当金 | 744 | 702 |
| その他 | 1,106 | 1,050 |
| 固定負債合計 | 6,352 | 21,267 |
| 負債合計 | 83,558 | 86,052 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 31,186 | 31,186 |
| 資本剰余金 | 6,959 | 6,959 |
| 利益剰余金 | 2,218 | 3,470 |
| 自己株式 | △385 | △385 |
| 株主資本合計 | 39,979 | 41,230 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38 | △867 |
| その他の包括利益累計額合計 | 38 | △867 |
| 少数株主持分 | 273 | 264 |
| 純資産合計 | 40,291 | 40,627 |
| 負債純資産合計 | 123,849 | 126,679 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 68,904 | 69,866 |
| 売上原価 | 52,416 | 53,259 |
| 売上総利益 | 16,488 | 16,607 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,973 | 13,637 |
| 営業利益 | 2,514 | 2,969 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 65 | 108 |
| 不動産賃貸料 | 107 | 105 |
| その他 | 237 | 189 |
| 営業外収益合計 | 410 | 403 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 579 | 470 |
| その他 | 624 | 528 |
| 営業外費用合計 | 1,204 | 998 |
| 経常利益 | 1,720 | 2,373 |
| 特別利益 | | |
| 土地売却益 | 294 | － |
| 投資有価証券売却益 | 42 | 27 |
| その他 | 92 | － |
| 特別利益合計 | 429 | 27 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 256 | 735 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 101 | － |
| その他 | 68 | 0 |
| 特別損失合計 | 426 | 735 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,724 | 1,665 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 188 | 158 |
| 法人税等調整額 | 2 | △14 |
| 法人税等合計 | 190 | 143 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,533 | 1,522 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | △3 | 6 |
| 四半期純利益 | 1,537 | 1,515 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,533 | 1,522 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △636 | △906 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | － |
| その他の包括利益合計 | △636 | △906 |
| 四半期包括利益 | 897 | 615 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 901 | 609 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △3 | 6 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,724 | 1,665 |
| 減価償却費 | 1,776 | 1,686 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 79 | △428 |
| 受取利息及び受取配当金 | △80 | △116 |
| 支払利息 | 579 | 470 |
| 有形及び無形固定資産売却損益（△は益） | △281 | △0 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 926 | △2,806 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △518 | △1,687 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 1,802 | 4,650 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △440 | 466 |
| 有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益） | △41 | △27 |
| 有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益） | 256 | 735 |
| 関係会社株式売却損益（△は益） | 14 | － |
| 有形及び無形固定資産除却損 | 48 | 40 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 101 | － |
| その他 | △906 | △728 |
| 小計 | 5,041 | 3,918 |
| 利息及び配当金の受取額 | 226 | 270 |
| 利息の支払額 | △569 | △458 |
| 法人税等の支払額 | △623 | △235 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,075 | 3,495 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額（△は増加） | △0 | △100 |
| 有価証券及び投資有価証券の取得による支出 | △205 | △6 |
| 有価証券及び投資有価証券の売却による収入 | 198 | 69 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △879 | △1,191 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 994 | 30 |
| 関係会社の清算による収入 | 16 | － |
| 関係会社株式の取得による支出 | △50 | △19 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 5 | － |
| 貸付けによる支出 | △29 | △5 |
| 貸付金の回収による収入 | 38 | 22 |
| その他 | △76 | △585 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12 | △1,785 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △2,582 | △1,077 |
| リース債務の返済による支出 | △28 | △33 |
| 長期借入れによる収入 | 600 | 17,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,530 | △18,567 |
| 社債の償還による支出 | △11 | △11 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △0 | △263 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △2 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,555 | △2,954 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △159 | △38 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 372 | △1,283 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,891 | 16,600 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 15,264 | 15,316 |

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額（注）1 | 四半期連結損益計算書計上額（注）2 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | パイプシステム事業 | 機械システム事業 | 産業建設資材事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 41,333 | 14,573 | 12,997 | 68,904 | － | 68,904 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 60 | 34 | 758 | 852 | △852 | － |
| 計 | 41,393 | 14,608 | 13,755 | 69,757 | △852 | 68,904 |
| セグメント利益 | 2,004 | 132 | 159 | 2,296 | 218 | 2,514 |

（注）1 セグメント利益の調整額218百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額227百万円及びたな卸資産の調整額△56百万円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額（注）1 | 四半期連結損益計算書計上額（注）2 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | パイプシステム事業 | 機械システム事業 | 産業建設資材事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 40,403 | 15,068 | 14,394 | 69,866 | － | 69,866 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 108 | 0 | 735 | 844 | △844 | － |
| 計 | 40,512 | 15,069 | 15,129 | 70,711 | △844 | 69,866 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | 1,779 | 833 | 384 | 2,997 | △27 | 2,969 |

（注）1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△27百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントが負担する販売間接費、一般管理費、試験研究費の配分差額2百万円及びたな卸資産の調整額△70百万円が含まれています。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。